

編集顧問

生田 房弘	臺 弘
大友 英一	金澤 一郎
酒田 英夫	佐野 圭司
島津 浩	杉田 秀夫
高倉 公朋	塚田 裕三
中里 洋一	彦坂 興秀
平山 恵造	藤澤浩四郎
真柳 佳昭	萬年 甫
水野 美邦	柳澤 信夫

編集委員

岩田 誠 (編集主幹)	
石塚 典生	糸山 泰人
内山真一郎	梶 龍兒
河村 満	高坂 新一
作田 学	辻 省次
寺本 明	中込 忠好
中野 今治	水澤 英洋

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
神田 隆	木村 和美
久保 義弘	栗栖 薫
桑原 聡	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	宝金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

傍腫瘍性症候群, より正確には傍腫瘍性神経症候群 (paraneoplastic neurological syndrome: PNS) とは, 悪性腫瘍に伴う神経障害のうち腫瘍の直接浸潤・転移, 栄養障害, 日和見感染, 治療の副作用などを除外したいわゆる遠隔効果よるものをいうが, 最近では, 主に抗神経抗体に関連した免疫介在性のものに対してよく用いられる。

皮膚筋炎と悪性腫瘍, 重症筋無力症と胸腺腫, 小脳変性症と肺小細胞癌など悪性腫瘍と神経疾患の関係は古くから知られてはいたが, そのメカニズムはよくわかっていなかった。しかし, その後抗神経抗体の同定や免疫治療の発展が続き, 現在では PNS は神経学において 1 つの大きな領域を形成するに至っている。個人的には 1980 年代後半から, 相次いで stiff person 症候群と Isaacs 症候群の症例を経験し, 血漿交換による劇的な改善を目の当たりにして大変感動したことをよく覚えている。当時はまだ両疾患とも PNS としてはポピュラーでなく, 抗 GAD 抗体は Yale 大学まで送って検査してもらったり, 抗 VGKC 抗体もまだ生物学的検査しかできず患者は英国まで行き故 Newsam-Davis 教授にみてもらっていた。

PNS の治療としては, 原因である腫瘍の治療が重要なことは言うまでもない。しかし, 多くの PNS では必死の検索にもかかわらず腫瘍が認められないことがあり, 神経障害が先行した可能性のほかに, 特発性あるいは原発性の自己免疫疾患の場合もある。したがって, PNS の研究は特発性の免疫介在性神経疾患にとっても重要である。また, PNS あるいは特発性の免疫介在性神経疾患は, 膠原病と同じような自己免疫病態と言うことができるが, 全身的な炎症反応や γ グロブリンの増加など通常の血液検査では異常を伴わない“静かな自己免疫疾患”である。一見, まったく手がかりのない“変性疾患”のような顔をしていながら, 実は十分治療可能であり, 正しくかつ迅速な診断が極めて重要である。

現在までに, 大脳, 小脳, 脊髄, 末梢神経, 筋と神経・筋系すべての部位で PNS が知られており, その範囲は極めて広汎であり, かつ同一あるいは類似の症候に対して 1 種類ではなく多種類の抗体が存在する。特に, NMDA 受容体抗体や VGKC 抗体を伴う脳炎は, これまで原因不明とされてきた特徴ある疾患のメカニズムに迫るものとして注目されている。本特集ではこの広汎な領域の多彩な神経障害とさまざまな抗体についてすべてを網羅することは困難であるが, まず PNS 全体としてその発症機序から診断と治療に至る特徴を詳述していただき, 次いで重要と思われる代表的疾患について詳しく解説をしていただいた。

われわれは, これらの代表的な PNS をよく熟知するとともに, これまで経験のないような新しい病態に直面しても, PNS の特徴を手がかりに必ず PNS あるいは免疫介在性機序を考慮して検索や治療を進める必要がある。本特集が, 読者の皆さまの日常診療や研究の発展に多少とも貢献できるとすれば大変幸甚である。

(水澤英洋)

BRAIN and NERVE

(第 62 巻 第 4 号)

2010 年 4 月 1 日 (毎月 1 回 1 日発行)

定価 3,990 円 [本体 3,800 + 税 5 % (配送料実費)]

[2010 年, 年ぎめ予約購読料 35,460 円・電子ジャーナル閲覧
オプション付 46,100 円 (配送料弊社負担)]

販売部直通電話 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5701 (山内・小藤・山崎)

FAX (03) 3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn>

印刷所 ㈱アイワード (011) 241-9341

広告申込所 ㈱ハイブリッジエージェンシー (03) 3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2010, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権 (送信可能化権を含む) は㈱医学書院が保有します。
- 〔JCOPY〕 (株) 出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に (株) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。